

2023年4月17日

新宿区長宛て

団体名 チーム・フランポネ  
所在地 新宿区百人町2-7-9 STKビル  
(フリガナ) マヌーシマオカ  
代表者氏名 島岡 学 印

新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 500,000円

申請事業の分野 (該当の分野1つだけに○をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に○をしてください。)		
保健・医療・福祉	災害救援	情報化社会
社会教育	地域安全	科学技術
<input type="radio"/> まちづくり	人権擁護・平和	経済活動
観光	<input type="radio"/> 国際協力	職業能力開発・雇用機会拡充
<input type="radio"/> 文化・芸術・スポーツ	男女共同参画	消費者の保護
環境	子どもの健全育成	市民活動支援
その他 ( )		

事業計画書

団体名	チーム・フランポネ
事業名	新宿国際交流漫才大会 S-1 グランプリ
① 事業目的・概要	ア 事業目的
	<p>新宿区で日本語を学ぶ外国人留学生との新宿区民が「お笑い」を通じた交流を促進させ、外国人に対する差別意識の軽減を目的としている。芸人の視点で「お笑い」x「新しい多文化共生」を提案する。そして吉本興業の東京本社が新宿区にあり新宿での課題解決を実践する。</p>
	イ 事業概要
<p>新宿区にある日本語学校7校にて「漫才で覚える日本語」という授業を実施する。最終的に参加者が2分の漫才を完成させ、3月に留学生による「新宿国際交流漫才大会 S-1 グランプリ」を開催する。同時に日本人と外国人がコンビを組んだ国際交流漫才も披露する。</p> <p>新宿区にある日本語学校 及び 日本語学校に連絡を取り参加者を募る。既に7校から参加表明があり、残りの3校は助成金の交付が確定次第、チラシを作成の上、公募する。同時に新宿区が実施している日本語教室にも必ず声を掛ける。</p>	

<p>② 地域課題・社会的課題</p>	<p><b>【33,611人】</b> この数字って何だと思いませんか？これは2022年2月1日に公表された新宿区に住む外国時の数です。新宿区の人口の11.1%が外国人であり人口の10%以上を外国人が占めています。</p> <p><b>【学校では？】</b> 小中学校では両親が外国人のため日本語ができない子供があふれ、心ない人から差別的な誹謗中傷が行われている。</p> <p><b>【外国人問題を「お笑い」で解決】</b> 吉本興業東京本部は新宿区にあり地域課題と社会課題の解決に取り組んでいる。新宿に本社を置く吉本興業に所属する芸人が新宿区で外国人による漫才大会を開催させ「お笑いx多文化共生」を実践する。</p> <p><b>【新宿区での実施実績】</b> 2019年から新宿区にある日本語学校にて「漫才で覚える日本語」が採用される。 実施実績：新宿日本語学校、ユニタス日本語学校、東進ランゲージスクール、カイ日本語学校、ユニタス日本語学校、ヒューマンアカデミーなど。</p> <p>生徒からのコメント：「面白くて楽しい」、「日本の漫才が分かった」、「簡単に漫才ができる」等のコメントあり</p> <p>先生からのコメント：「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の能力を使って漫才を作成するので日本語教育として効果がある。</p> <p>★ 添付：過去に発表された「漫才で覚える日本語」に対する学術論文を参照</p>
	<p><b>I. イベント（会議）名：（新宿国際交流漫才大会 S-1 グランプリ）</b></p> <p><b>ア イベント（会議）の開催予定等</b></p> <p>活動内容：8月から2月までに新宿区にある日本語学校もしくは日本語教室 計10校にて2回の漫才作成講座を20回実施する（10校x2回）</p> <p>実施期間：R5年8月～R6年2月 実施回数：(20)回/月・年 実施場所：オンライン・<b>会場</b>（新宿区にある日本語学校、日本語教室）</p> <p><b>イ 対象者及び参加予定人数</b></p> <p>対象者：新宿在学の留学生と一部日本人 参加予定人数：のべ(300)名</p> <p><b>ウ 周知</b></p>

<p>③ 活動内容 (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)</p>	<p>&lt;媒体&gt;  <input type="checkbox"/> ポスター   <input checked="" type="checkbox"/> チラシ   <input type="checkbox"/> HP   <input checked="" type="checkbox"/> その他(メールで連絡)</p> <p>&lt;周知先&gt;  <input checked="" type="checkbox"/> 区施設(特別出張所、地域センター等)   <input type="checkbox"/> 区直営掲示板  <input type="checkbox"/> その他( )</p>
	<p>エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)</p>
	<p>団体構成員 (5) 名                      講師等 ( ) 名                  アルバイト ( ) 名                      ボランティア ( ) 名</p>
	<p>II. イベント(会議)名:(新宿国際交流漫才大会 S-1 グランプリ)</p>
	<p>ア イベント(会議)の開催予定等</p>
	<p>活動内容:外国人留学生による漫才大会</p> <p>実施期間:R6年2月24日 午後12時から16時までを予定                  実施回数:(1)回/月・<input checked="" type="checkbox"/>年                  実施場所:オンライン ・ 会場(新世界語学院 大会議室)</p>
	<p>イ 対象者及び参加予定人数</p>
	<p>対象者:外国人留学生                  参加予定人数: のべ(100)名</p>
	<p>ウ 周知</p>
	<p>&lt;媒体&gt;  <input type="checkbox"/> ポスター   <input checked="" type="checkbox"/> チラシ   <input type="checkbox"/> HP   <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>&lt;周知先&gt;  <input type="checkbox"/> 区施設(特別出張所、地域センター等)   <input type="checkbox"/> 区直営掲示板  <input type="checkbox"/> その他( )</p>
<p>④ 安全対策等 (簡条書きでご記入ください)</p>	<p>ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策</p> <p>・日本語学校・日本語教室で実施する漫才作成講座において細心の注意を払い安全に努める。</p> <p>・漫才大会に関して参加者が迷うことなく会場に到着できるように誘導スタッフは設ける。同時に漫才大会の連絡を送付する資料は外国人留学生でも分かるようにルビを振り英語の説明も加える。</p>
	<p>イ 新型コロナウイルス感染症対策</p>

	<p>2023年5月8日以降に実施するので特別な感染症対策の必要はないが万が一、再びコロナが拡大した場合はコロナ禍で実施していた受付での検温と消毒を行う。万が一、37.5度以上の熱がある場合は事情を説明の上、欠席してもらう。</p>
<p>⑤ 期待される効果</p>	<p><b>ア 区民や地域社会への成果・効果</b></p> <p>「外国人＝面白い」というブランディングを行い、日本初の「お笑いx多文化共生」を成功させ、このモデルケースを残りの22区にも普及させる。新宿区に在学・在勤の留学生による「お笑いフェス」なので一般の区民の方にも2月に開催される漫才大会を告知する。外国人が多い新宿区で外国人による「お笑いフェス」が季節的なイベント（年に1回）に昇華させ、新宿区の文化イベントになると新宿区における外国人の理解が得られる。</p>
	<p><b>イ 現状や課題に対する成果・効果</b></p> <p>「外国人＝怖い」というイメージから「外国人＝面白い」に変える。日本人と外国人の間で「笑い」が生まれると心理的な壁がなくなり相互理解と国際交流を促進させる。</p>
<p>⑥ 先駆性・専門性</p>	<p><b>【お笑いを通じた社会課題の解決】</b></p> <p>新宿に本社を置く吉本興業所属芸人による社会貢献活動であり、お笑いの専門である芸人が社会課題解決に挑む。過去に新宿区において国際交流漫才イベントの実施実績はなく、今回が新宿区では初の開催となる！</p> <p><b>【専門性】</b></p> <p>吉本興業所属芸人は「わ笑いの専門家」であり、その専門性を今回のイベントに落とし込んでいる。</p> <p><b>【先行事例】</b></p> <p>2021年 7月 山口県周南市にて日本人と外国人留学生がコンビを組んだ国際交流漫才イベントを実施</p> <p>2022年 10月 立命館大学 アジアウィークにて日本人と外国人留学生がコンビを組んだ「国際交流漫才」を実施</p> <p>2022年 10月 横浜市にて横浜市大と共同開催という形で横浜とSDGsをテーマにした「横浜SDGsグランプリ」を実施</p>



収支予算書

費 目		予 算 額	内 訳
事業費	①使用料及び賃借料	100,000 円	新世界語学院の多目的ホール1日 (含む音響、照明)
	②消耗品及び印刷費	50,000 円	チラシデザイン料込、A4両面カラーチラシ印刷 1000枚
	③委託費	円	
	④講師謝礼	600,000 円	90分1回 (3万円 芸人3名参加) の「漫才作成講座」を20回、20回 x 3万円
	⑤その他謝礼	50,000 円	漫才大会時のMC 及び 審査委員としての稼働費用 (芸人3名稼働)
	⑥交通費	円	
	⑦保険料	円	
	⑧その他諸経費	円	
	⑨新型コロナウイルス感染症対策経費	円	※上限額2万円以内 (20,000)
	⑩人件費	円	※下記「事業費」の25%以内 (266,666)
事業費 (①から⑩の合計)		800,000 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		円	※事業費の5%以内 (40,000)
⑫助成対象経費 (事業費+⑪)		800,000 円	
⑬助成対象外経費		円	
<b>事業総額</b>		<b>800,000 円</b>	

内 容		予 算 額	積算根拠 (内訳)
収入区分	㊦ 事業収入 (参加料、資料代等)	0 円	
	㊧ 寄附金	0 円	
	㊨ 補助金等収入	0 円	
	㊩ 協働推進基金助成金	500,000 円	「①～⑨、⑩～⑫の合計」の2/3と「⑬」の合計 ※千円未満切り捨て
	㊪ 団体負担金	300,000 円	
<b>収入総額</b>		<b>800,000 円</b>	